

学校評価アンケートの結果と考察

令和7年11月に学校評価アンケートを行いました。評価内容について肯定的な回答の割合を求めた上で、本年度の教育活動について職員で考察を行いました。これをもとにさらなる話し合いを重ね、「ゆめ」に向かってたくましく生きる子供を目指し、来年度の教育活動について検討してまいります。アンケートへの御協力ありがとうございました。

| | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|
| ・対象：児童8名、保護者5名、学校運営協議会委員(CS)6名、教職員8名 ・算出方法：4、3の対象の総計に対する割合（4：そう思う 3：まあそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない） ※「分からない」と答えたものは対象から除く。 | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|

| 番号 | 評価内容 | 児童 | 保護者 | CS | 教職員 | 考察 |
|--------|--|-------|-------|-------|-------|---|
| 学校像 | 1 学校は、一人一人の個性や気持ちを大切にしている。【一人一人が主役となって輝く学校】 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ◎体育祭や若杉発表会などで子供の思いを大切にしたい計画を立てたり、できたことを称揚したりしてきたことが、子供の自己肯定感を高めることにつながった。 |
| | 2 学校は、安全で安心できる場所である。【安全で安心できる温かな学校】 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ◎全職員が子供一人一人の様子を気に掛ける「全員がみんなの担任」の体制づくり、情報共有ができた。 |
| 学校経営方針 | 3 学校は、子供理解を基盤とし、子供の気持ちに寄り添う温かな支援・指導に努めている。【一人一人を大切にしている教育活動】 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ◎「全職員が全員の担任」で、全ての教職員が授業や行事に関われよう計画し、いろいろな見方で子供を見ることができるようになったことが、子供が安心して学校に通えることにつながった。 |
| | 4 学校は、子供が活躍する場を設け「認め・励ます」指導に努めている。【一人一人を大切にしている教育活動】 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ◎子供たちで話し合い、計画を立て進める活動を設け、できたところは称揚することで、子供の活躍する場ができた。 |
| | 5 学校は、子供の実態をつかみ、少人数のよさを活かし一人一人に合わせた授業に努めている。【一人一人を大切にしている教育活動】 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ◎子供の実態の丁寧な把握と、個の状態、実態に応じた指導を行うことができた。 |
| | 6 学校は、「熊小学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、適切な対応に努めている。【一人一人を大切にしている教育活動】 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ◎有事に対するいじめ対策委員会の即時開催、対応検討、アンケート実施後の面談、対応ができた。 |
| | 7 学校は、円滑な情報共有と迅速・丁寧な対応を心掛けている。【信頼を基盤とした地域・保護者との連携・協働】 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ◎さくら連絡網などを活用して情報共有と丁寧な対応ができた。 |
| | 8 学校は、積極的に情報発信し、地域・保護者の声を丁寧に受け止めている。【信頼を基盤とした地域・保護者との連携・協働】 | | 100.0 | 83.3 | 100.0 | ◎ブログの毎日更新、学校だよりの発信、回覧(毎月)で情報発信できた。 △地域の方は情報をどんな形で得るかが課題。学校運営協議会委員への授業公開、学校公開日の活用、CS便りの発行回数を増やすなど検討が必要。 |
| | 9 学校は、CSを生かした教育活動を推進している。【信頼を基盤とした地域・保護者との連携・協働】 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ◎学校運営協議会で意見交換ができた。 △さらに協働して、「熊地区がめざす子供の姿」を実現するために学校と地域が手を結びできることは何かを検討していく。 |
| | 10 学校は、一輪車、百人一首、全校合唱や地域の自然などを活かした特色ある教育活動を通して魅力ある学校づくりをしている。【特色ある教育活動】 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ◎3つの自慢を保護者、地域に発表する場を設け、それに向けて取り組みを進めることができた。それが自分たちの住んでいる熊を大切に思い、自信をもって生きていけることにつながった。 |

| | | | | | | |
|------|--|-------|-------|-------|-------|--|
| 考える子 | 1 子供は、学校での学習に進んで取り組んでいる。 | 87.5 | 62.5 | 100.0 | 100.0 | ◎子供とともに単元計画を立てることで、子供が見通しをもちゴールに向かって学習に臨むことができた。 △さらに見通しをもって学習に取り組めるように工夫が必要。 ◎振り返りのしかたを各授業で工夫していることにより、自分の学びに満足感をもつ子供が増えた。 △学校での学習の様子が家庭に伝わり切っていない。学校公開、授業公開を増やす必要がある。 |
| | 2 子供は、友達や教師、他校の友達と関わったりしながら見通しをもって課題を解決しようとしている。 | 100.0 | 75.0 | 100.0 | 87.5 | ◎他校との合同授業を励みにして学習に臨む子供の姿が見られた。 △授業や活動における見通しのもたせ方には、課題がある。 |
| | 3 子供は、相手(友達・教師・地域の方など)の話をよく聞き、自分の考えや気持ちを分かりやすく伝えようとしている。 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ◎場を設定し、指導を繰り返すことで、相手意識をもった姿勢で聞くことが定着してきた。 △さらに、話の内容までしっかりと伝えよう・聞き取るという意識を高める必要がある。 |
| | 4 我が家では、家庭学習が身に付くようにしている。また、読書習慣が身に付くようにしている。 | 62.5 | 100.0 | - | 87.5 | △家庭学習が子供自身のためになっていることを実感させるために、子供が自分で宿題について考えたり、教師、保護者の共通理解を図ったりする必要がある。 |

| | | | | | | | |
|------|---|--|-------|-------|-------|-------|--|
| 明るい子 | 1 | 子供は、互いの違いを認め、自分も友達も大切にしている。 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ◎しあわせシェアの時間を毎日設定するなどの工夫で、お互いを大切にできる雰囲気が出てきた。 |
| | 2 | 子供は、目標に向かい、見通しをもって前向きに努力している。 | 75.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ◎熊小の「ゆめ」をいろいろなところで活用して、毎日のゆめノート、中期的には行事や活動でのゆめ、学期ごとのゆめシートなど、多くの場面で目標やめあてをもって活動に取り組むようになってきた △ゆめにむけてどうアプローチ(支援)をするか。ゆめへの過程が大事。「見通し」とは何か、共通理解する必要がある。 |
| | 3 | 子供は、ふるさとくんまのよさを学び、ふるさとを大切にしようとしている。 | 100.0 | 87.5 | 100.0 | 100.0 | ◎くんまおうえんしゃの活動に加えて、地域探検や川遊びなどの活動の設定、総合的な学習の時間で福祉産業歴史自然などのテーマを設定して追求活動を行うことができた。 △もっと身近な人材の活用をすすめたい。 |
| | 4 | 我が家では、子供と会話をし、SNSやゲームなどの情報モラルをはじめとして、社会のルールやマナーが身に付くように一緒に考えている。 | 100.0 | 100.0 | - | 87.5 | ◎日頃の道徳の授業に加えて、情報モラル講座で子供が、健全育成会においてPTAや職員が情報モラルについて学ぶ機会を設定することができた。 |
| 強い子 | 1 | 子供は、目標をもち、進んで運動している。 | 75.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ◎体育の時間でのゆめ(めあて)の設定、運動行事に向けたゆめの設定や振り返り、感想発表、カードなど自分の成長や頑張りなどの見える化をしてきた。 △自分の頑張りを感じられていない子供もいる。 |
| | 2 | 子供は、自分の体に関心をもち、健康に気を配った生活をしている。 | 75.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ◎健康の日の保健指導やげんきコーナーの設置で、実際の行動変容につながっていた。 ◎健康委員の子供が健康リーダーとして、下級生に健康管理を呼び掛けてくれて効果的だった。 ◎毎週の健康・清潔チェックは、担任と連携して、〇が多い状態が続いている。 |
| | 3 | 我が家では、早寝早起き朝ごはんなど基本的な生活習慣が身に付くようにしている。 | 75.0 | 100.0 | - | 100.0 | ◎健康のめあてでは、保護者と一緒に考え、評価するようにしたところ、家庭生活でも取り組みがみられ、保護者にも取組の見える化につながった。 △学校保健委員会は、本校は全保護者参加の形式である。この良さを生かしていきたい。 |
| 全体 | 1 | 学校は、『ひと』とかかわる力(聞く・伝える 相互理解、協力・協働 思いやり)、『自分』を高める力(主体性 前向きな姿勢 粘り強さ 自己の役割、責任)、『チャレンジ』する力(課題発見 見通しをもつ 実行 評価 改善)、『ゆめ』につなぐ力(学ぶことの意義理解 なりたい自分 選択判断)を意図的・計画的に育てている。【キャリア教育の推進】 | 87.5 | 100.0 | - | 87.5 | ◎掲示・各行事での振り返りシートにより、4つの言葉について子供が理解している。 |

☆子供たちにどんな力を身に付けさせたいと思いますか。(自由記述)

(運営委:学校経営・8)保護者への情報発信はしっかり行われていると思うが、地域への情報発信は届いているのかはなかなか難しくなっているように感じる。
(運営委:空欄のところ)子供たちの様子が分かりません。情報がありません。
(教師:考える子・2)他校の友達との交流は、幼稚園から連合で交流活動をしている割にはそういう雰囲気を感じられない印象がある。音楽発表や体育系の記録会が打ち切られて顔を合わせる機会も減ったので、授業系の交流、もしくは何かの教科に振り替えることができそうな活動の交流は増やしてもよいのではと思う。また、少しずつ進めてくださっているリモート授業なども、取り組みを進めていくとよいのではないと思う。
(教師:明るい子・4)折に触れて話はしているが、ICTの実際の使用状況を把握して一緒に考えたりはしていない。
(教師:全体・1)自分が得意なことや好きなことに対しては、熱心に取り組むことができる。しかし、苦手なことや難しいことに対して、粘り強く取り組もうとする気持ちが持続できないときがある。

☆全体を通しての考察

保護者・学校運営協議会委員の皆様、教職員から8割以上肯定的な回答となった内容が9割を超えたことから、熊小学校の教育活動に賛同いただいていると感じました。特に全員が肯定的な回答となったのは、「安心・安全な学校」「一人一人を大切にできる教育活動」に関わる内容でした。小規模校のよさを生かし、「全職員が全員の担任」となり、子供一人一人の良さをみとめ、活躍の場を与えてきたことが効果的だったと考えます。
子供たちの姿では、「話を聞く・相手に伝えるように話す」「互いの違いを認め、自分も友達も大切にしている」という項目が全員が高評価となりました。少人数ではありますが、相手意識を育てる教育活動を行いました。それにより、相手も自分も大切にできる子供が育ってきたと考えています。
また、本校のいじめに対する対応についても、全て肯定的な回答となりました。いじめを見逃さず、一つ一つ丁寧に丁寧に対応してきたことが評価されたと考えています。
しかし、「地域への情報発信」「家庭学習」「目標・見通しをもった学習への取り組み」に関わる項目について、課題があることが分かりました。アンケート結果並びにいただいた御意見をもとに、来年度に向け、職員で検討を重ね、教育活動に反映してまいります。
今後とも、「『ゆめ』に向かってたくましく生きる子」の達成に向け、一人一人の「ゆめ」が実現する学校をめざし、教育活動を進めていきます。